

特定非営利活動法人 市民活動情報センター・教育創生フォーラム

人が幸せになる社会・産業人材育成とは
～コロナ禍の今こそ、未来へ～

中小企業家同友会全国協議会・副会長
愛知中小企業家同友会・会長
エイバックス株式会社
代表取締役会長 加藤明彦
<http://www.avex-inc.co.jp>

1. **社員への思い**⇒人を生かす経営【人間尊重の経営】

会社経営の目的 **【会社＝人生】**

一人ひとりの社員が成長した分、会社は発展する
＝会社の発展は、社員の成長とイコール＝

一生しかない人生の中で、どれぐらいの力を持っているのか
誰もわからない潜在能力を発揮することで、
やりがい・生きがい、誇りと喜びを感じ、
「豊かな人生」が、送れる風土づくり

＝この一人ひとりの成長が、**会社発展の原動力**＝

2. **人は「資産」**と位置づける⇒経営者の姿勢

- ・外部環境による非常時の時は、社員を損益計算書（P/L）の「人件費」という費用と捉えず、
貸借対照表（B/S）の「自己資本」に相当する「人は資産」だ、と位置付ける

〔人はそう簡単に成長しない〕

⇒時間をかけて育った社員がいることが、わが社の強み〔コツコツと日頃からの積み上げ〕

3. 「経営者の責任」とは？・・・【コロナ禍での対応】

《リーマンショック時の経験を生かしながら》

□売上が激減している現在、経営者として何から対処していけば良いか？【自問自答】

- ・「経営者の責任」の一番は、【会社をつぶさず、残す】こと

⇒その「短期的な対応手段」として、すぐ行うべきことは**『資金手当』**だ！

- ・なぜ、「会社がつぶれるのか」⇒支払うお金が無くなったから

すぐやること（もう済みましたか）⇒いくらのお金があれば、どこまで会社が持つか

〔管理会計をベースに資金繰り・キャッシュフローの計算〕

◇今回、まず一年間行き詰まらないような金額の**「お金」**を調達しました

- ・日頃から「管理会計」に基づく「経営計画対実績の差異分析」を行ってれば、

すぐ計算が出来るでしょう

しかし、ここでつまずいている経営者はいませんか？

4. 「経営者の覚悟」とは？・・・【雇用を守る】こと

□売上が激減している現在、

苦しいから経費節減だと言って、人件費から手を付けようとしていないか？【自問自答】

- 借りたお金は返さなくてはなりません。そのために出来る早く黒字転換をするために、

経営者と社員の信頼関係の中、全社一丸体制で乗り切ることが最も大切なこと

5. 社員を「人財」と考えず、「人材」として育てる⇒個性[持ち味]を生かす

- 風雪に耐えた自然の木が強い。曲がりくねっても節があってもその特性を生かして梁にしている人間も、持って生まれた特性を生かして、成長していくほうが豊かな人生が送れる

- 人（人格）として認める⇒違いを認める

生まれ持った個性を生かす〔一人ひとりの持ち味の発揮・潜在能力の引き出し←目標管理の特徴〕

6. 経営指針を全社員と共有していく過程が、最大の「共育」である【共に育ちあう教育⇒全社一丸体制】

《教え育てる〔教育〕ではなく、育つ状態〔共育〕の企業風土づくり》学ぶ主体者は、本人

- それぞれの役割に応じた方針展開が出来るので、会社における自分の存在価値が認識できる

やるべき事が明確になるため、社員にやらされ感がなくなり、自ら改善行動に組むようになった

自主的に考えて、行動が出来るようになる⇒社長の思いを汲んでくれるようになる【信頼関係の構築】

これが、共育＝【潜在能力の全面開花】・コロナ禍を、みんなで乗り切る強い経営体質づくり

◇理念・方針・計画の整合性を、常に確認してきた〔社員が混乱・信頼関係が崩れる〕

◇経営指針の目標に対するフォロー体制の確立をしてきた【PDCAサイクルを回す・管理会計を行う】

経営指針幹部検討会（一泊）（決算2か月前）⇒経営指針書作成（決算1か月前）

⇒経営指針書再確認（会議体）（決算前）⇒経営指針発表会（決算後）

⇒月次社長発表（月初）⇒「予実の差」会議【管理会計】（月初）⇒半期修正会議（決算半年後）

【自己問答】

◇「経営指針」の展開から、企業基盤の確立をしていく〔企業体質強化づくり〕

□行き先も決めず羅針盤もなしに、会社を動かしていませんか？

□社長が作り、社長が語り、一人芝居をしていませんか？

□自社の経営指針発表会に同友会のメンバーに参加をしてもらい、コメントをもらっていますか？

□理念だけでは、飯が食えない状況の時に、

方針・計画については、社員を巻き込んで作成をして、月次フォローを社員としてしていますか？

□理念で飯が食える状態になってきましたか？

理念に基づいた社長のビジョンに基づいて、方針・計画が社員の自主性により作成されていますか？

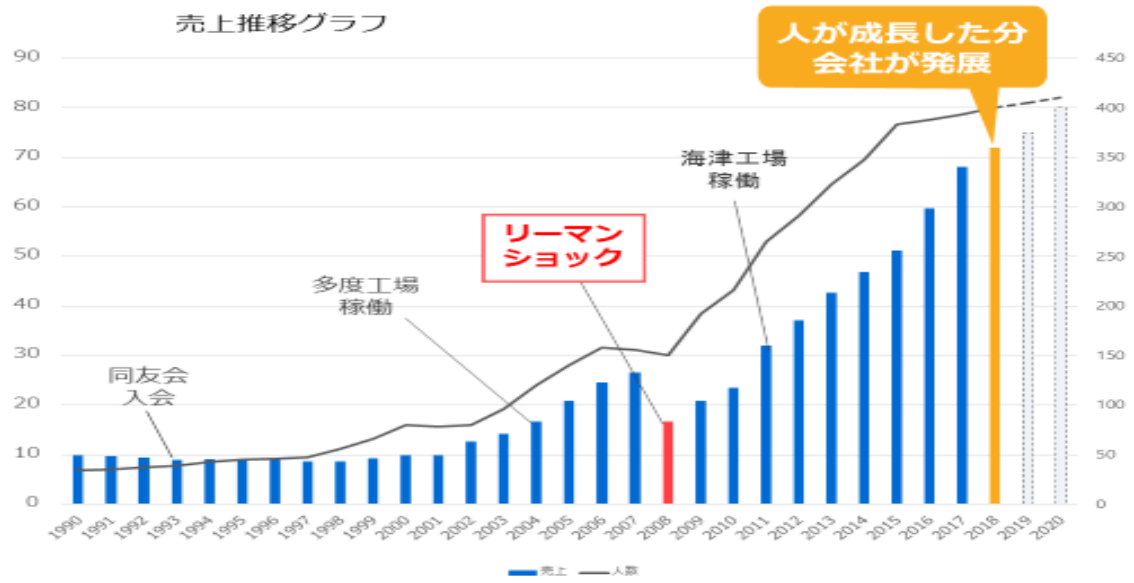
5. 一生をかけて「生きること・学ぶこと・働くこと」、この密接な関係に価値がある

→『ヒト』として生まれ、『人間』として成長すること

→生きる・暮らしを守る・人間らしく生きる⇒自主・民主・連帯の精神

人は何のために学ぶのか、人は何のために教育をするのか。それは「人が幸せになる」ためである

私は「人が幸せになる」とは、「豊かな人生を送ることができる」ことだ、と考える



《書籍紹介》

逆風をもって「徳」とする

赤石 義博・藤河 次宏・加藤 明彦

「あかいし文庫」友の会